

第24回日本語教育連絡会議日程

会場：ソフィア大学本部学長棟北ウイング2階 The New Conference Hall

第1日：8月18日（木）	
9:30	受付開始
10:30	開会
10:35-11:00	川手ミヤジェイエフスカ恩（テンプル大学日本校） 「日本語学習者と脳機能：耳から入ってくる音の表記」
11:05-11:30	重盛千香子（リュブリャーナ大学文学部） 「日本語の挨拶」
11:35-12:00	若井誠二（カーロリ・ガーシュパール大学人文学部） 「会話授業とは何か」
12:00-13:50	昼 休 み
13:50-14:50	ポスター発表 ・鈴木洋子（武蔵野大学） 「日本の文化力と日本語教育」 ・富谷玲子（神奈川大学） 「日本語自然習得者の文法の使用範囲」 ・土屋千尋（帝京大学） 「移動する子どもへの教育とサポート」 ・ヨフコバ四位エレオノラ（神田外語大学） 「主格助詞「が」の意味を学習者にどう教えるか」 ・小川（堀）誉子美（横浜国立大学） 「ヨーロッパにおける戦前の日本語講座：ブルガリアを中心に」
15:00-15:25	岩澤和宏（国際交流基金関西国際センター） 「Can do リストを教室活動に合わせてカスタマイズする一体験型短期研修の場合」
15:30-15:55	善如寺俊幸（東京外国語大学留学生日本語教育センター） 「漢字教授法一案「漢字イメージトレーニング」」
16:00-16:25	堀口純子（桜美林大学） 「留学生と若者ことば」
16:30-16:55	佐野香織（ワルシャワ大学） 「主体的に関わり社会的に行動する教室実践」
17:00-17:25	高橋知也（チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学） 「ツイッターを活用した作文指導の試み」
17:30-17:55	Gehrtz 三隅友子（徳島大学国際センター） 「プロジェクトワーク再考」
18:00-18:25	Darin Tenev（ソフィア大学文学部）

	「ストーリーの支え：文学理論の視点から見た日本語教育」
19:00-	Клуб на Архитекта (Klub na Architekta), ул.Кракра 11. にて懇親会
第2日：8月19日（金）	
10:00-10:25	仁科陽江（エアフルト大学） 「助詞の表すモダリティー（仮題）」
10:30-10:55	中俣尚己（実践女子大学） 「主観的程度表現について—「～程度の」「～ほどの」「～ぐらいの」を中心に—」
11:00-11:25	村田恵美（ザグレブ大学） 「モダリティー「わけ」の用法」
11:30-11:55	Mila Maneva (Agora Sofia) 「日本語における「経験者（ニ）ハ〜ガ〜」構文・「ハ〜ガ/ヲ〜タイ」の願望表現—ブルガリア語の与格「mi」 / 「mi se」タイプ文の観点から—」
12:00-13:50	昼 休 み
13:50-14:50	ポスター発表 <ul style="list-style-type: none"> ・黒沢晶子（山形大学） 「中国語母語話者のための漢字音教材開発—入声音を含む漢語を中心に—」 ・守時なぎさ（リュブリャーナ大学文学部アジア・アフリカ研究学科） 「海外における日本語教育実習は実習生に何を提供できるか」 ・岡田さやか・高橋亘（ベオグラード大学） 「ベオグラード大学における多読時間の取り組み」 ・青山文啓（桜美林大学） 「〈複文〉の地平」 ・砂川有里子（筑波大学） 「日本語学習辞書編集支援データベースの作成について」
15:00-15:25	森田誠亮（ブカレスト日本語学校） 「助詞導入における一考察」
15:30-15:55	石田敏子（筑波大学名誉教授） 「日本語教育におけるディスレクシアの諸問題」
16:00-16:25	蓮沼昭子（創価大学文学部） 「語りのテキストにおけるモダリティー制約の解除」
16:30-16:55	森田衛（国際交流基金日本語専門家（チェコ・カレル大学）） 「JF 日本語教育スタンダードを使って上級レベルの口頭表現を伸ばす試み」
17:00-17:25	ヨシムラさやか（ウィーン大学） 「ウィーン大学における日本語教育」
17:30-17:55	森山卓郎（京都教育大学） 「文学の日本語」
18:00	全体会議
18:30	閉会